

「学校・家庭・地域連携協力推進事業」(学校を核とした地域力強化プラン) 地域と学校の連携・協働体制構築事業の取組事例

「加美町地域未来塾事業」(宮城県加美町)

取組の概要や経緯

学校の授業以外で学習を行う機会がない児童生徒が多く、学校以外で学習を行うことに対する指導等が、学校・家庭の共通の課題となっている。そこで、自主学習の定着や学習機会の確保等を目的として「夏の寺子屋」及び「放課後寺子屋」を実施している。そのほか、地域人材を活用し、町の遺跡や遺物を通して歴史・文化を学ぶ「ふるさと寺子屋」を実施し、児童生徒の興味関心の幅を広げ、自主的・自発的な学びを醸成している。



内容

1. 「ふるさと寺子屋」
町学芸員による加美町の自然環境や歴史・文化に関する出前授業を、町内小学校6年生を対象に実施。
2. 「夏の寺子屋」
夏季休業中の7月28日～8月2日のうち、小学校や公民館を会場に5日間、町内小中学生に対して協働教育支援員及び地域の大人や学生等ボランティアの協働教育サポーターが学習支援を行った。午前の部と午後の部で各2時間実施した。また、体験学習として令和7年度はドローンプログラミング教室、ドローンサッカー体験、段ボールアートで動物をつくろう、どこでもEnglish、将来お金持ちになるために～お金の秘密を学ぼう～を実施した。
3. 「放課後寺子屋」
中学生を対象に、10月～2月に週1回放課後2時間、協働教育支援員や協働教育サポーターが学習支援を行った。



ポイント

- ① 「ふるさと寺子屋」…5月～7月に町内小学校全8校で実施。
- ② 「夏の寺子屋」…小学生97名、中学生45名が参加。支援員・サポーター69名で指導。
- ③ 「放課後寺子屋」…中学生のべ334名が参加。支援員・サポーター7名で指導。31回実施。

成果

- ・ふるさと寺子屋…町の遺跡を知ったり、遺物に直接触れることにより、歴史や文化に対する対象児童生徒の興味関心の幅が広がった。
- ・夏の寺子屋…令和7年度は町内にある高校からのボランティアが多数参加したことにより、個別指導を充実させることができた。
- ・放課後寺子屋…1、2年生の参加者が少なかったことから例年より参加者が減ったが、3年生が高校受験に向けて粘り強く学習に取り組み、苦手克服につなげることができた。

今後の方向性

- ・学校や参加者から継続してほしいという要望があるため、令和8年度も内容や実施回数を検討しながら実施する。
- ・参加者が増えるよう、魅力的な事業内容を検討していく。
- ・町内及び近隣の高校と連携し、協働教育支援員や協働教育サポーターの確保に引き続き取り組んでいく。

「学校・家庭・地域連携協力推進事業」(学校を核とした地域力強化プラン)

地域と学校の連携・協働体制構築事業の取組事例

「地域未来塾(パワーアップ教室)」(宮城県涌谷町)

取組の概要や経緯

【地域未来塾】

学び支援コーディネーター及び学び支援相談員又は補助員を各学習施設に配置し、児童生徒への支援経験のある地域住民が参画することを通して、教育活動の充実と学びを核とした地域コミュニティのさらなる構築を図る。

内容

【地域未来塾】

町内の児童(小学校3～6年)及び生徒(中学校1～3年)を対象に、夏季休業中8日間、4会場(小学校3校、中学校1校)で実施。学習指導だけでなく、学習習慣の定着を目指し、学習の取り組み方や時間配分について助言するようにした。

ポイント

【地域未来塾】

日頃から児童生徒の様子をよくわかっている学習支援員が支援に関わることにより、どの会場も落ち着いた学習環境と支援が受けられる。すべての会場が児童生徒が在籍する小・中学校となったことで、安全面の確保と教職員からの協力を得るなど、メリットの多い取組となっている。

成果

【地域未来塾】

昨年度から会場を各学校に設定することにより、通常時と変わらない環境で学習する機会を設けられ、多くの参加者数を得られた。会場が学校ということもあり、通常の学習がイメージでき宿題をこなすだけから主体的に教材を選ぶ姿も見られた。

更に、課題に積極的に取り組むことができ、学習習慣の定着を図ることによって長期休業中の学習時間の増加や、学校以外で平日学習に取り組む児童生徒が、昨年同様、増加傾向であるとの成果が得られた。



今後の方向性

【地域未来塾】

長期休業中も学習習慣の継続及び家庭における自主学習の定着を目的に、児童生徒個々が主体的に学習に取り組む場と時間を提供してきた。

今後もこの事業を通じて、継続的に学習に取り組む児童生徒を増やすことを目標に、長期休業中の取組において、学習支援員の支援により、落ち着いた学習空間の確保と学習に集中できる時間を提供していきたい。

また、引き続き、次年度も児童生徒の学習の普及促進及び定着化を図っていきたい。